

令和4年度

朝日町予算の重点・新規事業概要



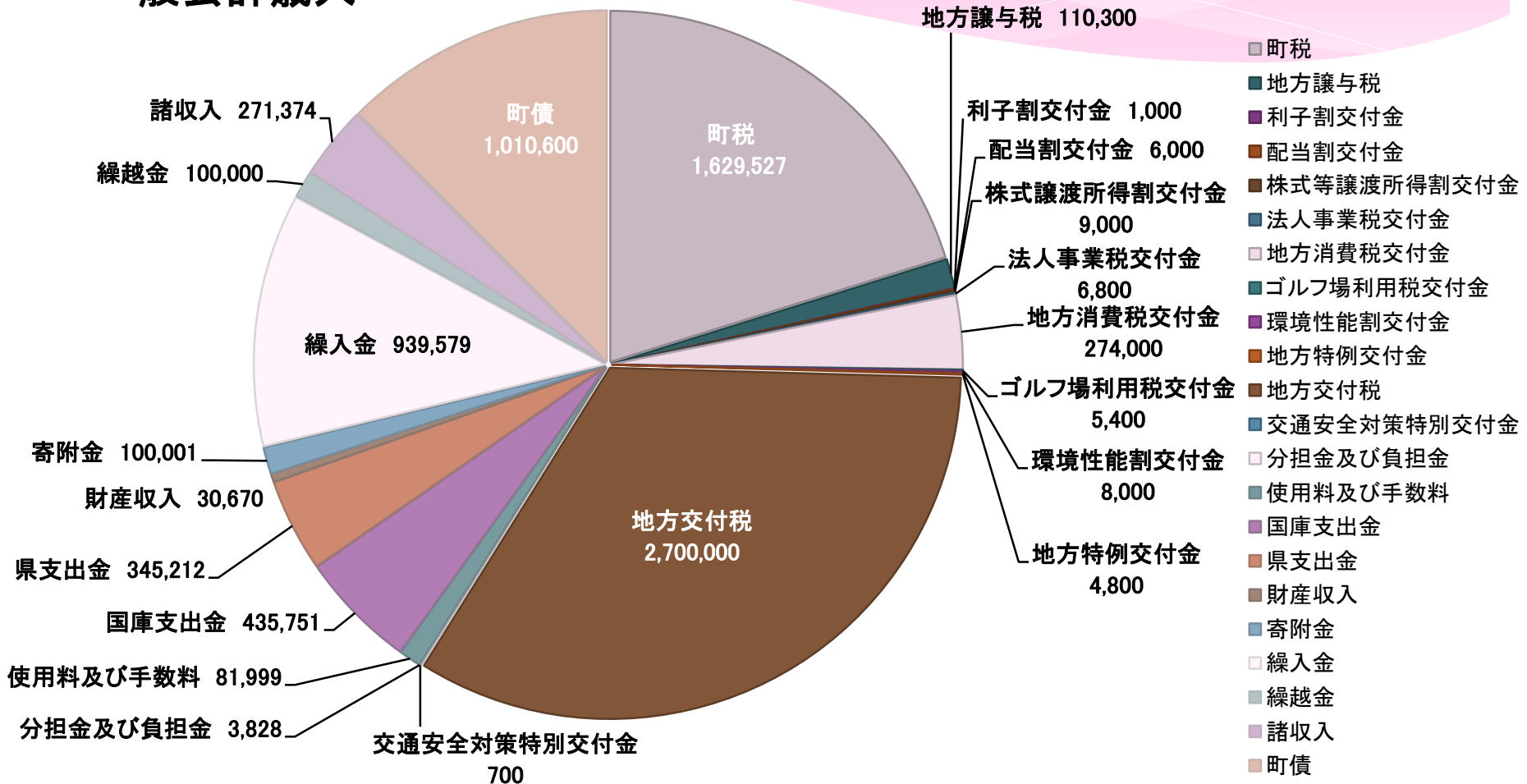
富山県朝日町

令和4年度 予算規模

(1)一般会計	80億7,454万1千円 (平成元年度以降 過去5番目の規模)	(対前年度伸率 11.2%)
(2)特別会計		
病院事業会計	39億4,426万7千円	(対前年度伸率 0.3%)
下水道特別会計	5億9,115万2千円	(対前年度伸率△18.0%)
その他〔5〕特別会計	17億8,131万8千円	(対前年度伸率 2.2%)
小計	63億1,673万7千円	(対前年度伸率△ 1.2%)
合計(1)+(2)	143億9,127万8千円	(対前年度伸率 5.4%)

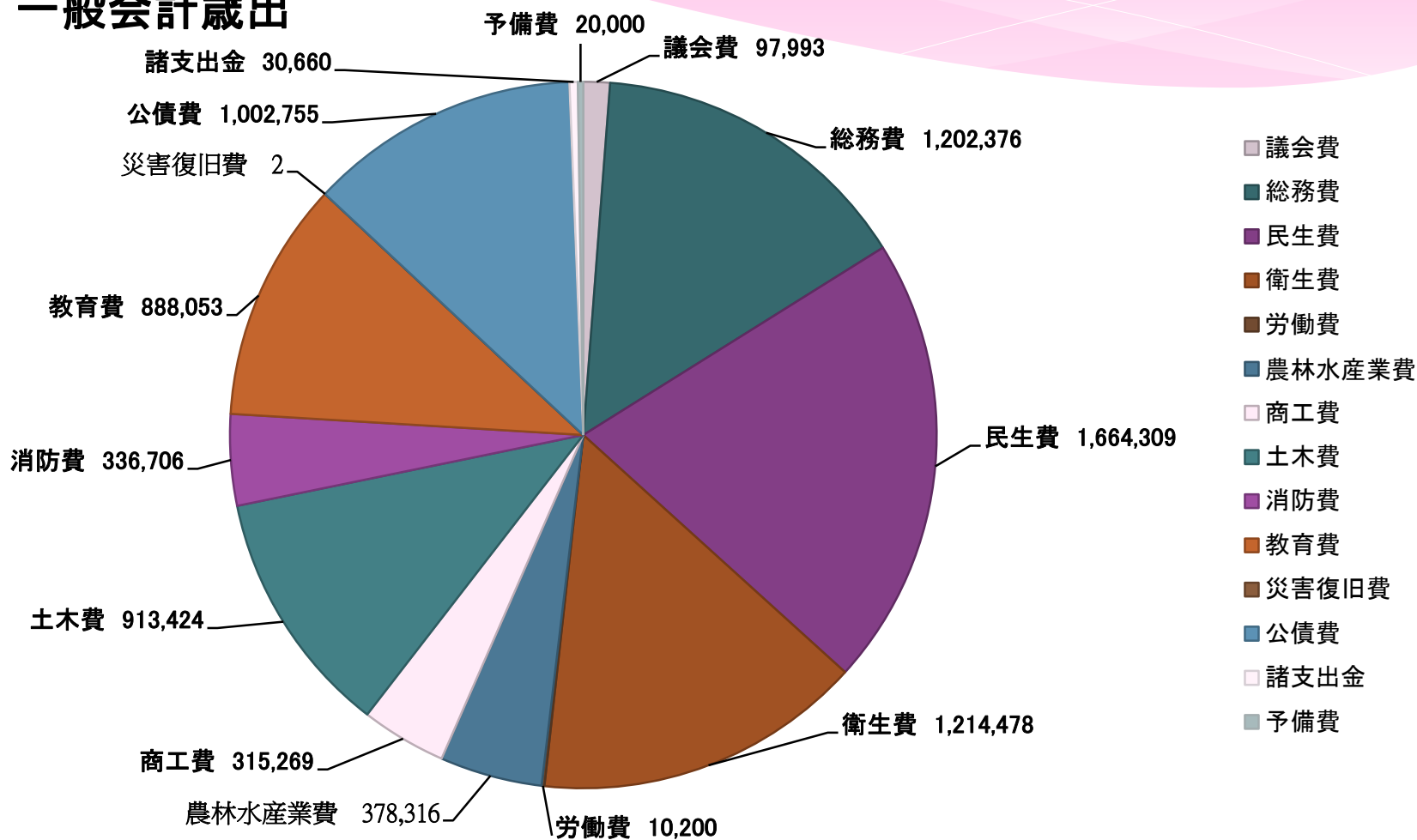
令和4年度 予算規模

一般会計歳入



令和4年度 予算規模

一般会計歳出



子育て・教育 (町の「宝」を守り育てる)

* 子育て支援

(継続) おうちで子育て応援事業

26,000千円

- ・助成対象児童: 生後6月～満3歳の保育所未入所児童
- ・助成対象者: 対象児童の保護者で一定の要件を満たす者
- ・支給額: 生後6月～満2歳の誕生日⇒月額6万円

満2歳の誕生日の翌月～満3歳の誕生日

⇒月額3万円

子育て支援事業 住民・子ども課

(継続) あいのトキめき婚姻・出生祝福事業

6,540千円

- ・次代を担う子どもの誕生を祝福するとともに、その健全な育成を願い、誕生祝金等を支給する。

あいのトキめき婚姻・出生祝福事業

住民・子ども課

(継続) 小学校給食費全額補助(無償化)

20,130千円

- ・子育て世帯(保護者)のコロナ禍における経済的な負担の軽減を図り、子どもの育てやすい環境を整え、子育て世帯の定住促進を図るため、令和3年度に引き続き実施する。

※中学校給食費全額補助(無償化) 継続 14,916千円

給食費(小学校) 教育委員会事務局



子育て・教育(町の「宝」を守り育てる)

* 学校教育

新 朝日町型保小中連携教育推進事業

1,300千円

・「朝日町型保小中一貫教育」を開始することから、保育所、小学校、中学校の円滑な接続のため、保育士と教職員の連絡を密にするとともに、幼児と児童、生徒との交流を深め、朝日町の未来を担う子供の豊かな成長を目指す。

事務局費 他 教育委員会事務局

(継続)ICT教育の推進

11,364千円

・1人1台タブレット端末の利用によるオンライン授業の実施、ICT支援員の確保、Wi-Fiルータの貸し出し、快適なインターネット環境の構築、デジタル教科書の活用など、さらなるICT教育の推進を図る。

教育振興費 教育委員会事務局

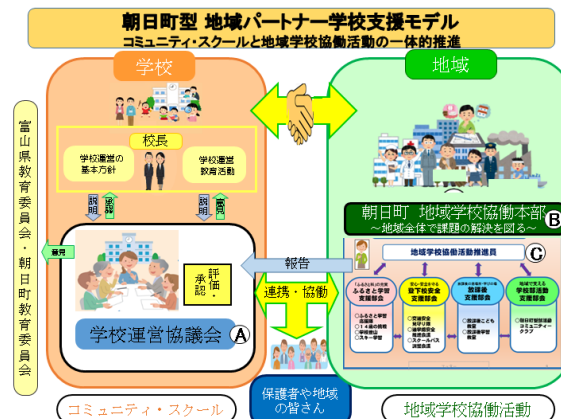
新 朝日町型地域パートナー学校

支援モデル事業

1,514千円

・学校と地域住民が力を合わせて学校運営に取り組む「朝日町型地域パートナー学校支援モデル」を導入し、学校の業務の一部を地域の方々が学校のパートナーとなり運営することで持続可能な学校運営を行う。

事務局費 教育委員会事務局



子育て・教育(町の「宝」を守り育てる)

* スポーツ

(継続)朝日町型部活動コミュニティクラブ
1,751千円

・中学校部活動(運動部、文化部)において、学校と地域人材(指導者)が連携・協力して、将来にわたって持続可能な部活動環境の構築、学校の働き方改革の両立と推進を図る。

社会体育事業 教育委員会事務局



* 文化

(継続)不動堂周辺施設再生構想事業
(なないろKAN改修工事)

331,478千円

・朝日町の歴史文化・観光など多彩な地域資源を活用し、不動堂周辺を「歴史と文化の香り漂うふるさとゾーン」と位置づけ、その拠点施設として、なないろKANを改築し、新美術館(展示場、体験学習室、喫茶室、ショップ、ラウンジ、アウトドアスタジオ、イベントスペース)として再整備する。

不動堂周辺施設再生構想事業 教育委員会事務局



健康・福祉(いつまでも元気で笑顔を保つ)

* 健康

新 骨髄移植患者等ワクチン再接種

費用助成
289千円

・骨髄移植手術、化学療法その他の医療行為により、予防効果が期待できないと医師に判断された接種済の定期予防接種(小児の予防接種)を再接種した場合、償還払いにて接種費用の助成を行う。

感染症予防費 保健センター

* 福祉・介護

新 成年後見支援センター運営費

1, 253千円

・成年後見支援センターを町地域包括支援センター内に設置し、成年後見制度の利用促進及び地域連携ネットワークを構築する。

成年後見支援センター運営費 健康課

(拡充)配食サービス事業

5, 029千円

・在宅ひとり暮らし高齢者の自宅に訪問し、直接弁当の受け渡しを行うことにより、日常の安否確認及び健康の維持を図り、在宅生活の自立を支援する。現行の普通食に加えて特別食の提供を開始する。

地域包括ケア推進事業 健康課

新 もの忘れ・認知症無料相談事業

28千円

・にいかわ認知症疾患医療センター主催の年12回の相談会に加えて、年5回程度町独自の相談会を実施する。相談体制を強化することで対応方法の助言や医療機関への受診勧奨、早期発見や早期受診につなげる。

地域包括ケア推進事業 健康課

健康・福祉(いつまでも元気で笑顔を保つ)

新 チームオレンジ事業

103千円

・認知症になっても住み慣れた地域で生活できるよう、認知症サポーターを中心に当事者及び家族への支援チームを立ち上げ、支援活動を推進する。

チームオレンジの構成員

- ・認知症サポーターステップアップ講座修了者
- ・当事者とその家族
- ・生活関連企業等

地域包括ケア推進事業 健康課



* 医療

(拡充)あさひ総合病院への

一般会計繰出金

720,460千円

・新型コロナウイルス感染症に伴う患者の受診控え等により、現金預金が減少傾向にあることから、安定的な病院運営の資金を確保するため繰出金を1億5,000万円増額する。

病院費 あさひ総合病院

(継続)医療体制推進寄附講座

23,000千円

・富山大学附属病院と朝日町の間で寄附講座「朝日・地域医療支援学講座」を引き続き開設し、寄附講座教員(内科医師)2名があさひ総合病院に常駐することにより、診療体制の拡充を図る

医療体制推進費 あさひ総合病院

産業振興(町の活力を生み出す)

* 農林水産業

新 農の雇用促進事業

480千円

・農業法人等が朝日町に在住する中高年層の新規就農者等を雇用した際に、雇用者に対して行う農業技術や経営ノウハウの指導等に対する資金を助成することで、農業従事者の雇用促進を図る。

担い手農家育成・安定対策事業 農林水産課

新 農業経営リスク軽減支援事業

1,927千円

・新型コロナウイルス感染症の影響等による市場価格の下落や販路の減少、自然災害や病虫害の発生など、売上減少による農業経営者のリスクを軽減させるため、農業者の収入保険への加入を支援することによって農業者の所得の安定と持続的な地域農業の発展を図る。

担い手農家育成・安定対策事業 農林水産課

新 水産物出荷時鮮度保持支援事業

1,200千円

・コロナ禍の影響による魚価低迷、温暖化による漁獲量の低下、燃料高騰により厳しい状況にある漁業者に対し、水産物を市場に出荷するために必要な氷購入代を助成する。

水産業振興費 農林水産課

(継続) 栽培漁業振興事業

1,678千円

・町漁業振興基金を活用し、漁業振興のため種苗代や放流に係る費用を全額補助する。

水産業振興費 農林水産課

産業振興(町の活力を生み出す)

新 漁業施設等整備事業

8,822千円

・町漁協振興基金を活用し、朝日町漁協が行う経年劣化した「製氷施設建屋修繕」に係る費用を全額補助する。

水産業振興費 農林水産課

* 企業立地

(継続)企業立地奨励事業

15,650千円

・新たに工場を新規立地した企業に対して、投下資本額(土地、建物、設備)の10%を補助する。草野工業団地に新工場を竣工する企業に対して交付する。

企業立地奨励事業 商工観光課

(拡充)雇用創出奨励金

5,100千円

・町における雇用の創出を奨励し、産業の振興を図るため、町民を雇用した事業所及び雇用された町民に対して「雇用創出奨励金」を拡充して交付する。

- ①朝日町民であり、朝日町内の事業所に正規雇用された就業者とその就業者を雇用する事業者
- ②上記①の就業者が採用時点で29歳以下である場合の正規雇用された就業者とその就業者を雇用する事業者
- ③上記①の就業者が就業日以前6ヶ月以内に町外から転入した場合の正規雇用された就業者とその就業者を雇用する事業者
- ④非正規雇用者を正規雇用として改めて採用した場合の事業者

①10万円 ②20万円 ③60万円 ④20万円

職業安定対策費 商工観光課

観光・交流(地域の魅力を高める)

* 観光

(継続)舟川桜並木周辺活性化事業

18,448千円

・土日の車で訪来者に対して、サンリーナ・病院に臨時駐車場を設け、直行のシャトルバスを運行する。
また、「春の四重奏」の景観創出支援として、地元農家や農事組合法人に対しチューリップ、菜の花の植栽や、舟川新桜並木保存会への通年での桜並木管理に対する支援を行う。

舟川桜並木周辺活性化事業 商工観光課



* 交流

(継続)民泊推進事業

500千円

・教育旅行における民泊の受入れを通じて地域活性化を図る。

受入れ予定 3校 480名

ふるさと体験事業 商工観光課



定住(町の良さを理解し愛される風土をつくる)

* 移住・定住

新 空き家活用モデル事業支援補助金

1,500千円

・空き家を活用したサテライトオフィスやコワーキングスペース等の整備に対し補助を行うことにより、町内への人流増加や事業者の町への定着を生み出す。

移住定住推進事業 住民・子ども課

(継続)移住定住拠点施設管理運営費

3,895千円

・移住定住拠点施設(こすぎ家)の運營業務を民間事業者に委託することにより、従来の移住定住施策をより円滑かつ効率的に行い、住民サービスの向上や町の活性化を図る。

移住定住拠点施設管理運営費 住民・子ども課

(継続)地域おこし協力隊

・地域活性化起業人

37,143千円

・「地域おこし協力隊」および「地域活性化起業人」制度の活用により朝日町における課題解決や町の活性化につなげる。

○地域おこし協力隊

R3予算 11名(継続8名、新規3名)

R4予算 5名(継続2名、新規3名)

○地域活性化起業人

R3予算 1名

R4予算 2名

地域おこし協力隊・活性化起業人事業

住民・子ども課

安心・安全(町民のくらし・生命を守る)

* 消防・救急

新 耐震性貯水槽新設工事

29, 172千円

・消防水利の増設を図り、災害時における消火活動に万全を期す。

越(南保)地内(60m³型)、笹川地内(60m³型)

消防施設費 消防署



* 有害鳥獣

(継続)耐雪型侵入防止柵整備事業

18, 787千円

・鳥獣からの被害防止効果を高めるため、耐雪型侵入防止柵の設置、維持管理などの防御面と、捕獲活動による個体数の減少対策への支援と両面で取り組む。

有害鳥獣対策事業 農林水産課

新 害獣用特殊グレーチング整備事業

3, 995千円

・有害獣侵入対策として朝日町有害鳥獣対策協議会が実施する害獣侵入対策用グレーチングの設置を支援する。

宮崎地内 1箇所

有害鳥獣対策事業 農林水産課

生活基盤(心地よい暮らしを支える)

* 都市計画

(継続) 泊駅南土地区画整理事業

118,400千円

・あいの風とやま鉄道から国道8号までの周辺における耕作放棄地の解消や土地の利活用を図るため、組合施行による泊駅南土地区画整理事業を支援する。

都市計画事業 建設課

* 道路・交通

(継続) 泊桜町線外消雪整備工事

34,500千円

・車両の交通量が多い町道泊桜町線などに消雪装置を整備し、通行車両の安全確保に努める。

消雪装置維持管理費 建設課

(継続) 住民参加型移動サービス

運行事業 (ノッカル)

4,453千円

※あさひまちバス運行事業(継続) 37,120千円

公共バス運行事業・住民参加型移動サービス運行事業
住民・子ども課



生活基盤(心地よい暮らしを支える)

* 環境衛生

新 朝日町再生可能エネルギー導入に向けたポテンシャル等調査事業

10,402千円

・2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、朝日町が今後、地域の脱炭素化に通じる取組を推進していくため、町内における①再生可能エネルギー導入可能なポテンシャルの把握、②温室効果ガスの排出・吸収量の算定及び将来推計、③再生可能エネルギーに関する施策の取組による定量的な削減効果の推計を行い、今後、策定が必要な各種計画や推進すべき施策の基礎資料を作成する

再生可能エネルギー推進事業 企画財政課

* 情報共有、町民参加

(継続) ケーブルテレビFTTH化分担金

87,777千円

・ケーブルテレビの光ケーブル化に伴う分担金。

地域情報推進事業 総務政策課

新 マイナンバーカード取得促進事業

3,102千円

・マイナンバーカードの取得促進としてタブレット端末を使用したマイナンバーカードの申請補助やマイナポイント等の手続き補助を行う。

住民基本台帳ネットワークシステム費
住民・子ども課

新 朝日町再生事業

(中山間フィールドスタディ政策協働推進事業)

546千円

・県中山間地域フィールドスタディ政策協働推進事業を活用し、町に入り込んだ東京大学生が感じる外部からの視点で、地域の弱点である人を呼び込む、稼ぐ力の創出等、その解決策を探る。

企画費 企画財政課